

2009年5月

有限会社 ラビックス  
代表取締役 藤岡岳之

各 位

## サービス形態の変更に関するお知らせ

当社が提供するサービス、モバイル緊急連絡安否確認システム「e-安否」では、下記のとおりサービス形態の変更を行うことと致しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. サービス形態変更の背景

ウェブアプリケーションを利用する際のサービス形態を表わす「ASP（Application Service Provider、エーエスピー）」は、他社の安否確認システムでも広く採用されています。

当社でも「e-安否」サービスをご案内の際に「ASP」というサービス形態を基本コンセプトとし、販売促進を行ってまいりました。しかし、従来の「ASP」と誤認されてしまうことで「e-安否」のサービス特長をお客様へ十分にお伝えすることが難しく、より本サービスに合った形態へと変更させていただくことと致しました。

他社製品との差別化を明確にすることで、「e-安否」のユーザビリティの高さ、カスタマイズ性の実現度をよりご理解いただければ幸いです。

#### 2. サービス形態変更の内容

「ASP（Application Service Provider、エーエスピー）」から

**「SaaS（Software as a Service、ソース）」**へ変更致します。

以下、「SaaS」の優れた点と、従来の「ASP」についてのご説明。

- 飛躍的に最適化された当社の「SaaS」 モバイル緊急安否確認システム「e-安否」
  - ・操作形態はASP同様 +ドラッグ&ドロップによる操作を実現（組織とユーザの設定）。
  - ・お客様ごとにプログラムソースレベルでの独立したアプリケーション動作環境を実現。
  - ・完全独立型データベース。
  - ・他ユーザとプログラムソースの共有がない為、独自機能追加などのカスタマイズ性に優れている。

- 従来の「ASP」※

ASPの概念…業務用のアプリケーションソフトをネットワーク（特にインターネット）を利用して、顧客にレンタルする事業者あるいはサービスを指す。利用者はインターネットに接続された環境で、ブラウザソフトを使ってASP事業者のサーバにアクセスし、ASP事業者から提供される各種アプリケーションソフトを利用する。

- ・お客様ごとのカスタマイズが不可能。
- ・ソフトウェアソース、データベースまでもが共有されている場合がある。

※お客様から頂いたご意見を当社が代弁しているものであり、ASPの定義、及び他社のソフトウェア仕様を決定づけるものではありません。

以上